

紀伊半島沖で採集された ムナビレハダカエソ (ヒメ目：ハダカエソ科)

萩原清司*・山田和彦**・藍澤正宏***

Sudis atrox (Aulopiformes: Paralepididae)
collected from offshore site of the Kii Peninsula,
Japan

HAGIWARA Kiyoshi*, YAMADA Kazuhiko**
and AIZAWA Masahiro***

キーワード: ムナビレハダカエソ, 再記載, ハダカエソ科,
分布

Key words: *Sudis atrox*, redescription, Paralepididae,
distribution

はじめに

ムナビレハダカエソ *Sudis atrox* Rofen, 1963 は, 1955 年に東部太平洋・北米カリフォルニア沖産ミズウオ属魚類の胃内容物として得られた体長 75mm の幼魚を模式標本とするヒメ目ハダカエソ科ムナビレハダカエソ属の魚類である (Rofen, 1963)。本種は大西洋および太平洋の深海に広く分布するが採集例の少ない希種で, これまで幼魚のみが知られている。

この度, 紀伊半島沖から本種の最大標本と考えられる標準体長 221mm の個体が採集された。採集個体の特徴は Rofen (1963) が記載した *S. atrox* と概ね一致したが, 成長に伴う体型変化と考えられる若干の相違点も見出されたことから, 採集個体に基づき再記載を行った。本報告の計測値は 10%ホルマリン水溶液で約 1 ヶ月間固定の後, 70%エタノール水溶液で保存した資料 (横須賀市博物館魚類資料: YCM-P) による。

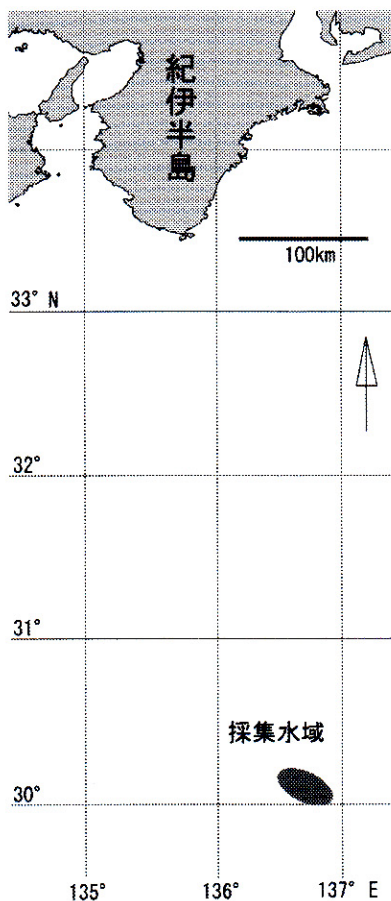
なお本報告にあたり, 標本の寄贈をいただいた石渡賢太氏, 文献を提供いただいた国立科学博物館の篠原現人博士に感謝の意を表す。

供試標本

YCM-P38512, 1 個体, 標準体長 221mm, 採集日 20050917, 紀伊半島沖・紀南瀬 (紀南海山周辺水域: 第 1 図), 水深約 600m, キンメダイ延縄漁により漁獲。

記載

長く頑丈な吻を持つ; 前上顎骨および歯骨の歯列は歯間に間隔を有する; 歯骨の歯列は前端にある 1 本の円錐歯と大きく上方を向いた扁平な不可動の 5 本の犬歯で, 犬歯は側縁に鋸歯を有する; 主上顎骨は大きく下方に張



第 1 図 採集水域

* 横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 横須賀市深田台 95

** 相模湾海洋生物研究会

*** 宮内庁生物学御研究所

り出して前上顎骨を完全に覆い、縁辺には鋸歯を有する；口蓋骨は内側後方を向いた2本の円錐歯を有する；側線はよく発達し、主鰓蓋骨上部後方から尾骨上に達する；胸鰭は大きく、その先端は頭部後端から臀鰭基部までの中央に達する。

以下に形質計数・計測値を示す。背鰭10軟条；臀鰭21軟条；胸鰭15軟条；臀鰭9軟条；尾鰭分枝軟条数 $9+8=17$ ；脊椎骨数 $29+24=53$ 。

以下、体長に対する比率(%)：全長108.4；頭長28.9；体高10.6；背鰭前長66.7；臀鰭前長78.0；腹鰭前長61.2；胸鰭長15.2；背鰭基底長7.3；臀鰭基底長14.0；尾柄高4.3。以下、頭長に対する比率(%)、吻長60.3；眼径16.4；上顎長70.4。

生鮮時の体色は、背縁が暗灰色、体側から腹部にかけて明るく透明感のある白色、吻部背面から下顎先端および下顎上縁にかけて黒色。頬部から鰓蓋にかけて銀白色。臀鰭基部上方の体側中央は橙色を帯び、尾柄上部1/3は黒色。10%ホルマリン固定後の標本では、側線より上方の背部と臀鰭基部上方の体側中央は淡褐色、側線より下方の体側および腹部は乳白色、吻部背面から下顎先端および下顎上縁は暗褐色、頬から鰓蓋にかけての銀白色部は消失する。

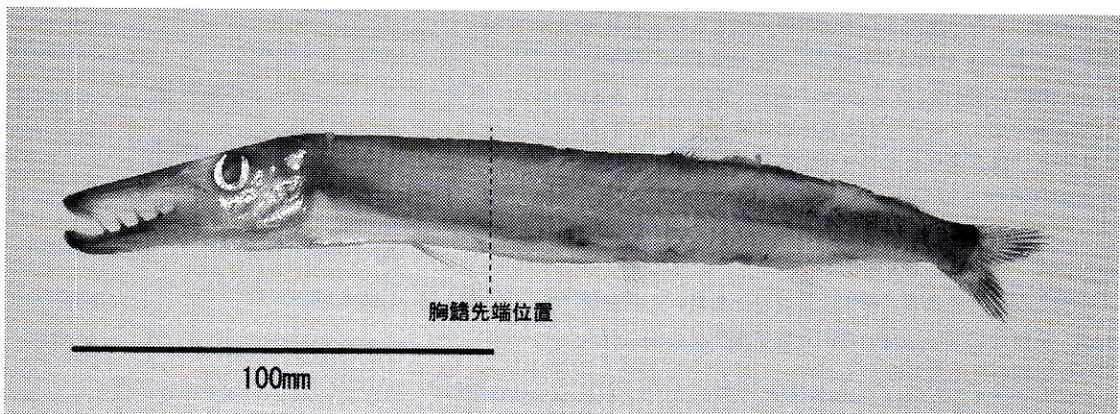
考 察

供試個体の特徴は概ね Rofen (1963) の原記載や Nakabo (2002) に示されたムナビレハダカエソの特徴に一致したが、下顎の犬歯数が本調査標本では5本であるのに対し Rofen (1963) では3-4本であること、胸鰭長は頭部後端と臀鰭基部までの中央で終わるのに対し Rofen (1963) および Nakabo (2002) では先端が臀鰭基部に達することなどで

異なっていた。しかし、幼魚期に各鰭が成魚と比較して伸長することは深海性魚類では多く見られる傾向であり、犬歯数においても下顎の成長に伴って歯数が増加することは十分考えられる。また、より大型個体の知られる同属の近似種として *S. hyaline* Refinesque, 1810 があるが、背鰭軟条数が12-16であること、大西洋および地中海にのみ分布することなどムナビレハダカエソとの相違点を有する (Post, 1990)。以上のことから供試個体をムナビレハダカエソと同定した。

引用文献

- Nakabo T. 2002. Paralepididae. In Nakabo T. ed. *Fishes of Japan with pictorial keys to the species*, English edition I: 366-371. Tokai University Press, Tokyo.
- Post A. 1990. Sudidae. In Quero J. C., Hureau, J. C., Karrer C., Post A. and Saldanha L. eds. *Check-list of the fishes of the eastern tropical Atlantic (CLOFEA)*. JNICT, Lisbon; SEI, Paris; and UNESCO, Paris. Vol. 1: 385.
- Rofen R. R. 1963. Diagnoses of new genera and species of Alepisauroid fishes of the family Paralepididae. *Aquatica*, (2): 1-7.



第2図 ムナビレハダカエソ *Sudis atrox* Rofen, 1963. YCM-P38512, fresh specimen.